
平成24年度

飯豊町の予算のあらまし

はじめに

町民の皆さまに、平成24年度の町の事業や予算の仕組みなどをより知っていただくため、一般会計予算のあらましを作成いたしました。

用語の説明などを加えながら、より理解していただけるよう作成しておりますので是非ご覧ください。

なお、広報いいで4月号に掲載している「町の予算」と一緒にご覧いただければと思います。



平成24年度の歳入予算の内訳は次のとおりです。

広報いいで4月号「町の予算」と一緒にご覧ください。

区 分	予 算 額	説 明
町税	6億 192万円	町民の皆さまなどから納付していただく、法人・個人町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、鉱産税、入湯税です。 なお、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料は各特別会計の歳入予算に計上されています。
地方譲与税	7,500万円	自動車重量税などの国税の一部が国から交付されるものです。
各種交付金	9,815万円	地方消費税交付金、交通安全対策交付金など、国や県から交付されるものです。
地方交付税	28億2,649万円	全国どこの市町村に住んでいても公平に一定水準の行政サービスが受けられるよう、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)の一部が国から交付されるもので、飯豊町においては歳入全体の半分以上を占める財源です。
分担金・負担金	3,927万円	保育園の保育料などです。
使用料・手数料	8,527万円	住民票などの各種証明書発行手数料やスポーツセンター、町営住宅、幼稚園などの施設使用料です。
国庫支出金	3億3,851万円	様々な事業を行った場合に国から交付される補助金や負担金などです。
県支出金	3億 157万円	様々な事業を行った場合に県から交付される補助金や負担金などです。
財産収入・寄付金	942万円	町の財産(土地・施設・設備)などの貸付や売却で得る収入、貯金の利子、寄付金(ふるさと納税など)などです。
繰入金	2億9,416万円	財産区会計などの特別会計から一般会計に入れるお金や基金(貯金)の取り崩し金などです。
繰越金	6,800万円	平成23年度からの繰越金です。
諸収入	7,914万円	給食費や保育園等の延長保育料、貸付金の元利収入などです。
町債	4億8,010万円	町道の整備やロータリ除雪車購入などのため、今年度町が国や金融機関から借り入れるお金です。
計	52億9,700万円	

- 1 平成24年度一般会計歳出予算(性質別) 歳出総額: 52億9,700万円

歳出予算を人件費や物件費などの性質別に分類することで、同じような内容の支出がどれくらいあるのかを見ることができます。

平成24年度の性質ごとの歳出予算の内訳は次のとおりです。

区 分	予 算 額	説 明
人件費	10億 129万円	町長、教育長、職員などの給料・手当・共済費、議員の報酬や共済費、農業委員や教育委員などの委員報酬などです。
物件費	7億8,189万円	臨時職員の賃金や社会保険料、消耗品などの事務費、地区公民館などの管理委託料などです。
扶助費	4億2,897万円	児童手当や高齢者、身体障がい者、生活困窮者などに対して行っている様々な支援(医療費無料化、高齢者・障がい者の施設入所に対する一部費用負担や除雪費支給など)に係る経費です。
維持補修費	1億9,831万円	除排雪にかかる経費や道路、公共施設の修繕費など施設の維持補修に係る経費です。
補助費等	7億3,772万円	各種団体に対する補助金や、公立置賜病院、西置賜行政組合等の一部事務組合への負担金などです。
積立金	1,577万円	定住促進住宅の住宅使用料の一部を基金へ積み立て(貯金)している分や各種基金の利子分の積み立て金です。
投資・出資・貸付金	2,800万円	生活安定資金原資の貸付金、肉用牛飼養農家緊急支援貸付金です。
投資的経費	4億8,685万円	町道整備や小学校耐震化のための工事費などです。
公債費	8億2,725万円	町道や施設の整備などのために、国や金融機関などから借り入れた借金の返済金です。
繰出金	7億8,595万円	各特別会計(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、農集排など)への繰出金です。
予備費	500万円	緊急的な支出に対応するための経費です。
計	52億9,700万円	



町の歳出予算は、例えば、予防接種関係であれば衛生費、町道の工事関係であれば土木費と
いうように、使い道を指定して目的ごとに区分して作成しています。

平成24年度の目的ごとの歳出予算の総額と主な事業は次のとおりです。

広報いいで4月号「町の予算」と一緒にご覧ください。

1. 議会費 (予算額:8,483万円)

議会費には、議員の報酬や議会運営などに係る経費が含まれています。

平成24年度の主な事業

議会中継システム更新事業 621万円

本町では、平成13年から議会中継
(生中継と録画中継)を行っています。
今回、システムや機器が古くなったこ
とから更新するものです。

なお、議会中継は、インターネットを
利用し自宅のパソコンから見るこ
とができます。



議会だより発行事業 106万円

議会だよりを年4回発行します。

2. 総務費 (予算額:6億5,086万円)

総務費には、広報広聴、職員・庁舎管理、財政管理、まちづくり、にぎわい再現、税賦課徴
収、戸籍住民基本台帳、選挙などに係る経費が含まれています。

平成24年度の主な事業

企画調整一般事業 1,706万円

林道飯豊桧枝岐線(中津川地内大規模林道)開通に伴うイベントや県立置賜農業高等学
校飯豊分校跡地利用の検討を行います。また、置賜広域行政事務組合運営に係る経費の一部
を負担しています。

地域づくり推進事業 720万円

第4次総合計画に基づき各地区が作成した地区別計画に計画されている事業などに対し、1
地区あたり5年間で最大400万円を助成します。

いいですね定住推進事業 884万円

住宅取得、結婚、出産、小中学校入学時に奨励金やお祝い品を贈呈します。

緑のふるさと協力隊受入事業 250万円

今年度は、隊員1名を受け入れ、主に中津川地区で活動していただきます。

この事業は、農山村に興味を持つ都市住民を地域活性化を目指す市町村が受け入れ、様々な地域活動に従事していただくものです。

にぎわい再現プロジェクト事業 581万円

にぎわい茶房やにぎわい再現プロジェクト委員会の活動に対し助成を行います。



町民総合センター有効利活用事業 300万円

町民総合センター「あ～す」を拠点に、様々なイベントの企画・開催を行っているあ～すイベント企画推進スタッフに対し助成を行います。

音楽によるまちづくり事業 492万円

めざみの里音楽祭、親子ふれあいコンサート、めざみの里カンタートなどを開催します。また、今年度は、飯豊町を会場にいいでトライアングル合唱祭(飯豊山を囲む新潟、福島、山形の団体が参加)が開催されます。

デマンド交通運行事業 1,240万円

町の数少ない公共交通機関の1つとして、特に高齢者の通院や買い物などを支援するためデマンド交通事業を展開しています。

防犯事業 787万円

町管理防犯灯約770灯の管理や整備、地区管理防犯灯約700灯の電気料助成などを行います。

3. 民生費 (予算額: 11億8,151万円)

民生費には、老人福祉、障がい者福祉、児童福祉などに係る経費が含まれています。

平成24年度の主な事業

医療給付事業 5,831万円

身体障がい者、ひとり親家庭(父子を含む)、中学3年生までの児童生徒の医療費無料化や負担軽減を行います。

障がい者自立等支援事業 1億5,609万円

障がい者の自立支援、生活支援、就労支援、飯豊町福祉事業所「でんでん」の管理運営などを行います。

老人福祉事業 3億5,132万円

敬老会事業、在宅介護支援事業(在宅介護者に対する補助)、各種老人福祉施設への補助などを行います。また、介護保険や介護老人保健施設(美の里)運営のための経費に充てられます。

国民健康保険、後期高齢者医療事業 2億285万円

国民健康保険や後期高齢者医療保険運営のための経費に充てられます。

児童手当支給事業 1億3,307万円

3歳未満月額15,000円、3歳以上小学校修了(第1～2子)月額10,000円、3歳以上小学校修了(第3子以降)月額15,000円、小学校修了後中学校修了まで月額10,000円を支給します。

所得制限以上の方は、中学校修了までの子ども一人につき月額5,000円を支給します。

保育園等運営事業 2億1,336万円

保育園等(さゆり・つばき保育園、添川児童センター、こどもみらい館)の管理運営を行います。



4. 衛生費 (予算額: 3億2,836万円)

衛生費には、母子保健、健康診断、医療、環境衛生、廃棄物処理などに係る経費が含まれています。



平成24年度の主な事業

母子保健事業 719万円

妊婦健診や乳幼児健診、不妊治療に対する助成などを行います。また、パパママ教室や離乳食教室などを行います。

予防接種事業 1,901万円

三種混合、子宮頸がん、ヒブワクチンなどの各種予防接種を行います。また、インフルエンザ予防接種や高齢者肺炎球菌ワクチン接種をされた方に助成を行います。

健康診断、各種検診事業 1,902万円

各種がん検診、肝炎ウイルス検診などを行います。また健康教室や検診後の事後指導などを行います。

環境衛生事業 648万円

不法投棄パトロールや狂犬病の予防注射等を行います。また、緑が丘斎場管理運営の経費の一部を負担しています。

合併浄化槽設置整備事業 1,069万円

水洗トイレ等の改造に係る借入金の利子補給を行います。また、生活排水個別処理事業(合併浄化槽)運営のための経費に充てられます。

医療施設運営事業 9,363万円

診療所や訪問看護ステーション運営のための経費に充てられます。また、置賜広域病院組合に対し、公立置賜総合病院等の運営に係る経費の一部を負担しています。

廃棄物処理事業 9,749万円

置賜広域行政事務組合に対し、ごみ処理場の管理運営に係る経費の一部を負担しています。また、ごみの収集運搬などを行います。

5. 労働費 (予算額: 7,364万円)

労働費には、雇用対策、職業能力開発、労働者対策などに係る経費が含まれています。



平成24年度の主な事業

雇用対策事業 5,782万円

新たに従業員を雇い入れた雇用主に対して助成を行い、雇用の維持、町民生活の安定を図ります。

未組織労働者対策事業 1,531万円

職場に労働組合や融資制度のない勤労者に対し、東北労働金庫と協力して低利な「生活応援ローン」を融資いたします。また、借入の際に必要な保証料の一部助成を行います。

6. 農林水産業費 (予算額: 6億1,719万円)

農林水産業費には、米や野菜などの作物振興、畜産振興、新規就農者支援、森林保全、木質ペレット利用促進などに係る経費が含まれています。

平成24年度の主な事業

農業集落排水特別会計繰出金 2億3,059万円

農業集落排水事業運営のための経費に充てられます。

環境保全型農業直接支援対策事業 635万円

化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減する取組みとセットで行う、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動及び有機農業に取り組む農業者等に対し助成を行います。

中山間地域等直接支払事業 1,444万円

農作物の耕作条件が不利な中山間地域において、農業生産の維持を通じて、農地としての機能を確保することを目的に交付金を交付します。

畜産振興事業 3,805万円

畜産振興を図るため、米沢牛や牛乳などを生産する畜産農家の規模拡大に対する助成や肉用牛飼養農家に対する貸し付け、黒べこまつりへの助成などを行います。

生産振興助成事業 3,914万円

米の需給調整のための転作や、町の振興作物の作付けに対し助成を行います。また、耕作放棄地を防止するため、不作付地を活用した耕作に対し、積極的に支援します。

土地利用型作物企画実践事業 120万円

土地利用型作物(米、大豆、そばなど)の高度な品質の改善を図ることができる栽培技術の確立や、今までにない革新的な取り組みなどについて企画提案型のコンテストを行い、上位入賞者の企画実現に向けた取り組みに対し助成を行います。



農業施設等運営事業 8,067万円

農道や用排水路などの農業用施設の維持管理などを行います。また県などが行う用排水路整備などの事業に対し一部負担を行います。

今年度は、次の事業を行います。

- ・岩鼻堰用水路補修工事(手ノ子地内)
- ・県営萩生ため池等整備事業(萩生地内 事業主体:県)
- ・山王原地区農地整備事業(中・萩生地内 事業主体:県)
- ・添川・椿地区農村災害対策整備事業(添川・椿地内排水路 事業主体:県)

新規就農者支援事業 207万円

新規就農者に対し、農地取得助成や小作料助成などの支援を行います。

木材製品利用住宅建設奨励等助成事業 800万円

県内産木材を利用し住宅を新築する世帯に対し助成を行います。

木質燃料利用促進事業 270万円

ペレットストーブを購入された方に対し助成(最高20万円)を行います。また、町内産ペレットの購入者に対し、ペレットエコポイントを発行(10袋(150kg)あたり1,500円相当の商品券と引き換え)し、町内産ペレットの販売促進を図ります。

造林事業及び森林病虫害防除事業 871万円

町有林などの除伐や枝打ちなどを行います。また、松くい虫やナラ枯れ等の防除・駆除などを行います。

林業施設整備事業 1,422万円

林道などの維持管理や整備を行います。今年度は、次の事業を行います。

- ・林道飯豊枝岐線安全施設整備事業(中津川地内大規模林道)
- ・作業道正計山線整備事業(小白川地内)

7. 商工費 (予算額: 1億3,980万円)

商工費には、商工業振興、中小企業育成、観光振興、観光イベント、特産品開発などの経費が含まれています。

平成24年度の主な事業

中小企業育成等事業 1,824万円

中小企業の経営安定化を図るため、中小企業が借入金を借り入れる際に必要な信用保証料の助成や借入金の利子補給助成を行います。

プレミアム付き商品券発行事業 650万円

プレミアム付き商品券の発行への助成を行います。

観光イベント推進等事業 1,266万円

町観光協会と連携し、台湾インバウンド事業などの観光イベントを開催します。

なお、今年度は、飯豊町を会場に全国パークゴルフ大会が開催されます。

観光施設等管理運営事業 5,982万円

めざみの里観光物産館やゆり園などの観光施設の管理運営を行います。



8. 土木費 (予算額: 5億2,146万円)

土木費には、町道、河川、橋りょう長寿命化、住宅、除排雪などに係る経費が含まれています。



平成24年度の主な事業

道路維持事業 3,633万円

町道の維持補修や橋りょうの長寿命化を図ります。

除雪事業 1億7,035万円

町道や公共施設などの除雪、消雪施設の維持補修に係る経費です。今年度は、ロータリ除雪車を1台更新します。

道路新設改良事業 2億3,207万円

平成24年度は、次の事業を行います。

- ・町道原南線道路改良事業(中地内)
- ・町道酒町線自歩道設置事業(萩生地内)
- ・町道内町線道路改良事業(萩生地内)
- ・町道南館深淵線ほか道路改良事業(黒沢地内)
- ・町道歌丸添川線ほか防雪柵設置事業(添川地内)
- ・町道下町線道路拡幅事業(添川地内)
- ・町道上野下野線道路改良事業(小白川地内)
- ・町道向原線道路改良事業(手ノ子地内)

意欲と活力ある道普請支援事業 300万円

地域の団体が主体的に行う町道の道路整備作業(敷砂利、側溝整備、草刈作業など)に対し、原材料や作業機械を調達し支給します。

町営住宅・定住促進住宅管理事業 860万円

町営住宅やいいでハイツ(旧雇用促進住宅)の維持管理を行います。

住宅リフォーム支援事業 1,000万円

県内産木材利用、耐震補強、バリアフリー化、省エネ化などを含む住宅リフォーム工事に対し助成を行います。

9. 消防費 (予算額: 2億5,449万円)

消防費には、消防、消防団、消防施設、災害対策などに係る経費が含まれています。

平成24年度の主な事業

常備消防事業 1億7,307万円

1市3町(長井市、白鷹町、小国町、飯豊町)で構成する西置賜行政組合に対し、消防施設の維持管理や救急車両(ポンプ車や救急車)などの整備のための経費を負担しています。

非常備団員管理事業 3,026万円

町消防団員に対し、年報酬や出勤手当を支給しています。また、退職報償金の積み立てや福祉共済に加入しています。

消防施設等整備事業 2,949万円

各分団に設置している消防車両の車検や修繕、耐震性防火水槽の整備、古くなった警鐘台、防火水槽の撤去などを行います。

なお、今年度は、町内3箇所(中、添川、岩倉地内)に耐震性防火水槽の新規整備を行います。

災害対策事業 465万円

万が一の災害に備え、各地区公民館に非常食や懐中電灯などの備品を整備します。また、新たに自主防災組織を設立した団体に組織運営や防災資機材整備のための助成を行います。



10. 教育費 (予算額: 5億6,591万円)

教育費には、教育振興、学校教育、社会教育、生涯学習、文化財、スポーツ振興などに係る経費が含まれています。



平成24年度の主な事業

外国語指導助手配置事業 500万円

外国語指導助手1名を配置し、小中学生の英語力向上を図ります。

児童生徒自立支援事業 279万円

児童生徒自立支援員、適応学級支援員を配置し、子どもたちの心のケアを行います。

スクールバス運行管理事業 2,959万円

スクールバス5台の管理運行を行います。なお、今年度は、スクールバスを1台更新します。

小中学校管理運営事業 9,081万円

小中学校の管理運営を行います。なお、今年度は、中津川小学校の耐震診断を行います。また、第一小学校改築の検討などを行います。

幼稚園管理運営事業 7,167万円

幼稚園(いいで中部・手ノ子幼稚園)の管理運営を行います。

公民館運営事業 5,565万円

地区公民館5館の管理運営を行います。

社会体育事業 4,517万円

スポーツセンターやスキー場などの管理運営やスポーツ振興事業などを行います。今年度は、4年に1度の町民スポーツフェスティバルが開催されます。

共同調理場運営事業 8,823万円

共同調理場の管理運営を行います。

11. 災害復旧費 (予算額: 4,670万円)

災害復旧費は、集中豪雨や台風などにより被害にあった施設などを現状復旧するための経費です。

平成24年度の主な事業

災害復旧事業 3,291万円

今年度は、平成23年度に発生した大雨等により被害にあった次の道路の災害復旧工事を行います。

- ・町道手ノ子沢線災害復旧工事(高峰地内)
- ・町道岳谷大日杉線災害復旧工事(岩倉地内)
- ・町道須郷広河原線災害復旧工事(上原地内)

12. 公債費 (予算額: 8億2,725万円)

公債費は、町道や施設の整備のため、町が国や金融機関などから借入れをした町債(借金)の今年度の返済金です。

平成24年度元利償還額

元金償還金 7億4,770万円

利子償還金 7,955万円

13. 予備費 (予算額: 500万円)

予備費は、緊急的な支出に対応するための経費です。

平成24年度予備費 500万円

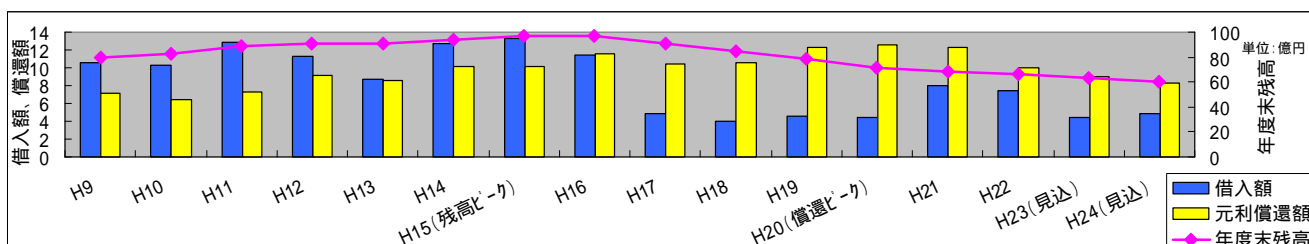
町債残高と基金残高

1. 町債(借金)

町では、道路や施設などを整備した際、一度に多額の工事費を支払うことが困難な場合などに、国や金融機関から借金をすることがあります。(借金には、長期に渡って返済することで、返済期間中の幅広い世代に公平に負担をお願いするという意味もあります。)

町の借金残高は、平成15年度がピークで約97億円ありましたが、平成23年度末では約63億円まで減少しています。なお、残高減少に伴い、年間の元利償還金(元金と利子を合わせた返済額)も減少しています。

町債(借金)の種類によっては、「元利償還金などの何%が地方交付税に上乗せ措置される」という制度があり、町ではより有利な町債を借り入れるようにしています。(本町が多く利用している過疎対策事業債は、元利償還金の70%が地方交付税に上乗せ措置されます。例えば、1,000万円借り入れたとすると、将来的には700万円が地方交付税に上乗せ措置され、町の持ち出しが300万円で済むことになります。)



2. 基金(貯金)

町では、大規模な公共施設などの整備や、国からの地方交付税などが減っても現状規模の予算を組めるよう、計画的に貯金をしています。

町の貯金残高は、平成23年度末現在で約24億円(一般会計分)あり、毎年目的を持って一部を取り崩し利用しています。

飯豊町の財政の健全度

財政の健全度は、健全化判断比率と呼ばれる比率で判断することができます。この比率は、町の財政が赤字なのか黒字なのか、借金の状態はどうか、将来どれくらい財政負担が必要かを数値化したものです。

赤字か黒字かについては、本町では黒字経営が続いておりますので問題はありません。

また、借金の状態を示す実質公債費比率、将来負担の状態を示す将来負担比率についても、危険度判断の基準を下回っているため、どちらも危険度は低い状態であると言えます。

本町の財政の健全度を判断するいずれの数値も「今のところは問題なし」という結果になっていますが、収入全体の5割を超える地方交付税が今後減少していくことが予想されるため、より計画的な財政運営が求められています。

このため町では、第4次総合計画に基づいて計画的に事業を行うこと、第4次行財政改革大綱を着実に実行すること、無駄を省き最少の経費で最大の効果をあげること、計画的に借金を計画的に返済すること、将来を見据え目的を持って貯金をすることを念頭に財政運営を行っております。

	飯豊町の健全化判断比率			危険度判断の基準	
	H20決算	H21決算	H22決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	(赤字なし)	(赤字なし)	(赤字なし)	15%	20%
連結実質赤字比率	(赤字なし)	(赤字なし)	(赤字なし)	20%	35%
実質公債費比率	17.1%	15.3%	12.9%	25%	35%
将来負担比率	112.0%	103.1%	59.7%	350%	

おわりに

町では、飯豊町が今後も自立した町でいられるよう、無駄を省き最少の経費で最大限の効果をあげるという基本的な考えのもとで予算を編成しています。

皆さまには、町が行う事業や予算の仕組みなどに是非関心を持っていただき、町が行う事業や政策に対して、ご意見、ご要望などをいただければ幸いです。

また、この「予算のあらまし」は、今年度から新たに作成しております。

今後も継続して作成し、よりわかりやすく、見やすいものにしていきたいと考えておりますので、わかりづらい点やもっとこうして欲しいなどのご意見をいただければ幸いです。



平成24年5月

飯豊町役場

総務企画課総合政策室

TEL: 0238 - 72 - 2111 (内線228)

FAX: 0238 - 72 - 3827

HP: <http://www.town.iide.yamagata.jp>

E-mail: i-seisaku@town.iide.yamagata.jp

(ご意見等をお寄せください)